

ご挨拶

日本小児リハビリテーション医学会は令和3年11月に産声をあげました。

本学会は小児と小児期に端を発する障害を持った**成人**に対するリハビリテーション医学・医療全般を対象に評価法・治療法の研究開発、普及・振興を推進して患者・家族・介護者の皆様に貢献することを目的としています。小児リハビリテーションに関わる医療関連職にとどまらず、保育・教育・工学・行政等多くの分野の方に参加いただいています。年1回の学術集会の他、定期的にオンラインセミナーを開催しており、各分野の知識の共有だけではなく、各地の当事者の方々から発信もしていただいております、大変に勉強になっています。会員の皆様におかれは、周りの関係者の方々への入会のお誘いをお願いします。

日本小児リハビリテーション医学会理事長 小崎 慶介（心身障害児総合療育医療センター）



第5回学術集会報告

札幌医科大学 土岐めぐみ

昨年9月に行われた第4回の学術集会は開催に無事漕ぎつけることができ、盛会のうちに終了したことをご報告させていただきます。

第70回全国肢体不自由児療育研究大会と同時開催させていただいたことを、改めて感謝いたします。ご多忙の中、全国から多数ご参加いただきました皆様、ご支援・ご協力いただいた関係各位に心より御礼申し上げます。

一般演題・教育講演・特別講演・シンポジウムともに、様々なお立場からのお話が聞け、活発な意見交換がされておりました。また、会場内外で交流の場が生まれ、貴重な機会になったと伺っております。

本会は「自由に生きる力を育む」をテーマにさせていただきました。生涯にわたって、選択肢のある生活や人生を誰もが得られる社会であるために、今できることはなんだろうと、これからも考えていきたいです。

末筆ながら、ご参加いただきました皆様、そして本学術集会の開催に際しご尽力いただきました皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

（下右写真は、学会翌日に訪問した滝川市にありますそらぷちキッズキャンプから見える風景です。冬は雪遊びで大人気の様です。）



野でのご経験に基づいたご講演を予定しております。子どもたちの持つ驚くべき運動学習能力に焦点を当てた、非常に示唆に富む内容になるものと期待しております。

名古屋市は、徳川家康により築かれた名古屋城の城下町として発展し、現在も市のシンボルとして多くの観光客を集めています。熱田神宮や徳川美術館など、歴史と文化を感じる名所も点在し、「ひつまぶし」「味噌カツ」「手羽先」などの名古屋グルメもお楽しみいただけます。週末にはぜひ三重県にも足をお運びください。名古屋から近鉄特急、約1時間30分で「伊勢神宮」へのお参りが可能です。さらにその先、鳥羽・志摩へとお出かけいただければ、伊勢エビやアワビをはじめとする新鮮で美味しい海の幸も堪能いただけます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



第6回学術集会準備状況

三重県立子ども心身発達医療センター 西村淑子

私こと西村淑子は、令和8年11月6日に開催予定の第6回日本小児リハビリテーション医学会学術集会におきまして、大会長を務めさせていただくこととなりました。第6回学術集会のテーマは、「子どもがその子らしく豊かに人生を送るために」といたしました。これは、私が勤務する三重県立子ども心身発達医療センターの基本理念でもあります。この理念には、「子ども中心であること」「一人ひとりの違いに丁寧に向き合うこと」などが込められており、子どもとそのご家族に寄り添いながら、今を生きる人々のニーズに応えるリハビリテーションのあり方を考えていきたいと考えております。会場は、名古屋駅桜通口より徒歩5分の「ウインクあいち」で、全国肢体不自由児療育研究大会との同時開催を予定しております。アクセスのよい会場ですので、ぜひ多くの方にご参加いただければと願っております。

多職種からの一般演題を募集し、展示、シンポジウムでは医療従事者がAI技術を活用した医用機器、リハビリテーションについて学ぶ機会を設ける予定です。特別講演では名古屋大学大学院医学系研究科 個別化医療技術開発学講座 特任教授 平田仁先生をお迎えし、小児のリハビリテーションにおける運動学習と脳の可塑性について、先生の豊富な手外科分

事務局よりお知らせ

会員の皆様より、お知り合いにご入会のお薦めをお願いしたく、また、本年度会費をお納めいただけていない方もおられ、以下に、振り方法等をお示しいたしました。学会の運営は皆様からの会費により成り立っておりますので、何卒、よろしくお願い申し上げます。

【年会費納入のご案内】

本学会の年度は1月1日から始まり、12月31日で終わります。年度内に会費をお納めください。

年会費：医師会員5,000円 一般会員2,000円

振込先：学会バンク

【問い合わせ先】

日本小児リハビリテーション医学会運営事務局

メール：rehabchild@rhand.org

担当：株式会社ライトハンド